

平成15年春の全国交通安全運動実施要綱

平成15年2月14日
中央交通安全対策会議
交通対策本部決定

第1 目的

本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

第2 期間

平成15年5月11日(日)から同年5月20日(火)までの10日間

第3 主催

内閣府、警察庁、総務省、法務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、都道府県、市区町村、自動車検査独立行政法人、日本道路公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団、自動車安全運転センター、軽自動車検査協会、自動車事故対策センター、(財)全日本交通安全協会、(財)日本道路交通情報センター、(財)全国交通安全母の会連合会、(社)全日本指定自動車教習所協会連合会、(社)全国二輪車安全普及協会、(社)日本自動車連盟、(社)日本バス協会、(社)全日本トラック協会、(社)全国乗用自動車連合会、(社)全国ダンプカー協会

第4 協賛

別紙のとおり(143団体)

第5 運動重点

1 全国重点

子供と高齢者の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止

シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

2 地域重点

都道府県の交通対策協議会等は、上記1の全国重点のほか、必要に応じ地域の交通事故実態等に即した重点を定める。

第6 全国重点に関する主な推進項目

- 1 「子供と高齢者の歩行中，自転車乗用中の交通事故防止」に関する推進項目
子供と高齢者自身の交通安全意識の高揚を促進するとともに，一般の運転者その他の交通参加者の子供と高齢者に対する保護意識を醸成することにより，子供と高齢者の交通事故を防止するため，次の項目を推進する。
 - 通園（通学）時間帯等における街頭での園児・児童に対する交通安全指導・保護・誘導活動の徹底
 - 高齢者の運動・運転能力等の理解に基づく安全行動の徹底
 - ア 高齢者自身による運動・運転能力等の的確な認識に基づく安全行動の実践
 - イ 高齢者（歩行者，自転車利用者）に対する保護の徹底
 - 歩行時，自転車利用時などにおける反射材用品等の活用
 - 自転車利用マナー向上対策の推進
 - スクールゾーン，シルバーゾーン等を中心とする子供と高齢者の安全な通行確保のための交通安全総点検の推進
- 2 「シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底」に関する推進項目
交通事故発生時における被害の防止・軽減を図るため，次の項目を推進する。
 - シートベルトとチャイルドシートの着用の必要性と着用効果に関する正しい理解の促進
 - チャイルドシートの安全性能に関する情報提供の推進
 - シートベルトの運転席及び助手席における着用の徹底と後部座席における着用の促進
 - 体格に合ったチャイルドシートの使用と座席への正しい取付けの徹底

第7 運動の実施要領

運動の実施に当たっては，現在の厳しい交通事故情勢が国民に正しく理解・認識され，上記第5及び第6に掲げた運動重点の趣旨が国民各層に定着して交通事故の防止に寄与するよう，以下の要領に従い効果的に運動を展開するものとする。

- 1 主催機関・団体における実施要領
 - 主催機関・団体相互間はもとより，関係機関・団体等との連携を密にし，支援協力体制を保持するとともに，具体的な実施計画を策定し，推進体制を確立するものとする。
 - 主催機関・団体は，組織の特性を活かし地域住民が参加しやすいように創意を凝らして，以下のような諸活動を展開し，又はこれを支援するものとする。
 - ア 自動車教習所等の練習コース，視聴覚教材，シミュレータ等を活用した参加・体験・実践型の各種交通安全教室の開催

イ 展示物等各種媒体を活用した街頭キャンペーン，街頭指導・保護誘導活動の実施

ウ 交通安全教材，その他地域の交通事故実態や特徴が容易に理解できる各種資料（交通事故統計，広報啓発資料等）の提供

エ 有識者，交通事故被害者等による交通安全シンポジウムの開催

オ 交通安全に関する作文，標語等の募集

都道府県，市区町村等は，民間交通安全団体，交通ボランティア等との幅広い連携を図り，本運動が住民本位のものとして展開されるよう地域の交通実態や，高齢者，若者，子供等の対象に応じた住民参加型のきめ細かな運動を実施するものとする。

ア 地域，家庭等における実施要領

自治会，町内会，老人クラブ等との連携による参加・体験・実践型の交通安全教室等を開催するとともに，住民を主体とした交通安全総点検，ヒヤリ地図の作成等を実施し，住民側から見た交通上の危険箇所等を積極的に汲み上げ，その把握と解消に努める。

また，家庭内における話合いを通じて交通安全意識を高めるため，これに資するような資料・情報の提供を行う。

イ 保育所，幼稚園，学校等における実施要領

保護者，教師，保育士等との連携により，参加・体験・実践型の交通安全教室を開催し，交通ルールの理解と交通マナーの向上等について指導を徹底するとともに，保護者等を交えた交通安全総点検，ヒヤリ地図の作成等を実施し，子供から見た通学路等における交通上の危険箇所の把握と解消に努める。

ウ 高齢者福祉施設，公民館等における実施要領

施設責任者，医師，看護師等との連携により，参加・体験・実践型の交通安全教室等を開催し，自転車の点検・整備を含めた安全な交通行動等について指導を徹底するとともに，関係者等を交えた交通安全総点検，ヒヤリ地図の作成等を実施し，高齢者から見た交通上の危険箇所の把握と解消に努める。

エ 職域における実施要領

職場の管理者，安全運転管理者，運行管理者等との連携により，事業所等の業務形態に対応した交通安全教室等を開催するほか，シートベルトの着用効果などの安全運転や交通事故情勢に関するきめ細かな情報提供を行い，社内広報誌（紙）を活用した広報啓発等を積極的に実施する。

主催機関・団体は，新聞，テレビ，ラジオ，インターネット，広報車，地域ミニコミ紙等，各種の媒体を活用し，対象に応じた広報啓発活動を活発に展開するとともに，これらの各種メディアに対し，自転車の事故防止と自転車マナー向上等積極的に情報提供を行い，交通安全意識の高揚に努めるものとする。

なお、チャイルドシート着用に関する各種広報等に当たっては「チャイルドシート着用推進シンボルマーク」の活用を図るものとする。

主催機関・団体は、部内の全職員に対し、本運動の趣旨、重点等を周知させ、職員自身が率先して模範的な交通行動を示すよう特段の配慮をするものとする。

2 協賛団体における実施要領

協賛団体は、主催機関・団体を始め他の関係機関・団体等との連携を密にして、地域と一体となった運動が展開されるよう上記1に準じ、組織の特性に応じた取組を推進するとともに、職員に対し本運動の趣旨等を周知させ、職員自身が模範的な交通行動を示すよう特段の配慮をするものとする。

第8 効果評価の実施

主催機関・団体は、運動終了後にその効果評価を行い、実施結果を的確に把握することにより、次回以降の運動がより効果的に実施されるよう施策の検証に努めるものとする。

別 紙

協 賛 団 体

(順不同)

(社)日 本 民 営 鉄 道 協 会	全日本運輸産業労働組合連合会
(社)全 国 自 家 用 自 動 車 協 会	全日本自動車産業労働組合総連合会
(社)全 国 通 運 連 盟	(財)全 国 安 全 会 議
(社)日 本 陸 送 協 会	中央労働災害防止協会
全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会	陸上貨物運送事業労働災害防止協会
日 本 貨 物 運 送 協 同 組 合 連 合 会	建設業労働災害防止協会
(社)全 国 個 人 タ ク シ ー 協 会	(社)日 本 交 通 科 学 協 議 会
(社)日 本 自 動 車 工 業 会	日本体育・学校健康センター
(社)全 国 軽 自 動 車 協 会 連 合 会	都 道 府 県 教 育 長 協 議 会
(社)日 本 自 動 車 整 備 振 興 会 連 合 会	(社)日 本 P T A 全 国 協 議 会
(社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会	(社)全 国 高 等 学 校 P T A 連 合 会
(社)日 本 中 古 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会	全 国 国 公 立 幼 稚 園 長 会
(社)日 本 自 動 車 タ イ ヤ 協 会	全 国 連 合 小 学 校 長 会
(財)自 転 車 産 業 振 興 協 会	全 日 本 中 学 校 長 会
日 本 自 転 車 軽 自 動 車 商 協 同 組 合 連 合 会	全 国 高 等 学 校 長 協 会
(社)全 国 建 設 業 協 会	全 日 本 私 立 幼 稚 園 連 合 会
(社)日 本 建 設 業 団 体 連 合 会	日 本 私 立 中 学 高 等 学 校 連 合 会
(社)日 本 道 路 建 設 業 協 会	(社)全 国 子 ど も 会 連 合 会
(社)日 本 道 路 協 会	(財)日 本 交 通 安 全 教 育 普 及 協 会
全 国 道 路 利 用 者 会 議	(社)全 国 公 民 館 連 合 会
(社)全 日 本 駐 車 協 会	(財)あ した の 日 本 を 創 る 協 会
全 日 本 交 通 運 輸 産 業 労 働 組 合 協 議 会	(社)日 本 青 年 会 議 所
全 国 交 通 運 輸 労 働 組 合 総 連 合	日 本 青 年 団 協 議 会
(社)ガ ー ル ス カ ウ ト 日 本 連 盟	(財)ボ ー イ ス カ ウ ト 日 本 連 盟

全国地域婦人団体連絡協議会
主婦連合会
(財)全国老人クラブ連合会
(福)日本身体障害者団体連合会
(福)日本盲人福祉委員会
(財)全日本ろうあ連盟
(福)全国社会福祉協議会
日本弁護士連合会
全国人権擁護委員連合会
(財)法律扶助協会
損害保険料率算出機構
全国銀行協会
(社)生命保険協会
(社)日本損害保険協会
全国共済農業協同組合連合会
日本赤十字社
(財)日本消防協会
日本放送協会
(社)日本民間放送連盟
(社)日本新聞協会
(社)日本雑誌協会
(社)日本広報協会
朝日新聞社
毎日新聞社
読売新聞社
日本経済新聞社
産業経済新聞社
北海道新聞社

(社)全国私立保育園連盟
中日新聞社
西日本新聞社
ジャパンタイムズ社
(社)共同通信社
時事通信社
日本テレビ放送網
フジテレビジョン
東京放送
テレビ朝日
テレビ東京
ニッポン放送
文化放送
日本短波放送
(社)公営交通事業協会
(財)道路サービス機構
(財)ハイウェイ交流センター
(社)全国道路標識・標示業協会
(社)日本自動車会議所
建設業五団体合同安全公害対策本部
石油連盟
全国石油商業組合連合会
(財)国際交通安全学会
(財)日本交通管理技術協会
全国鉄道貨物取扱連合会
全国地域活動連絡協議会
(財)児童健全育成推進財団
(社)全国レンタカー協会

全国トラック交通共済協同組合連合会
(福)日本保育協会
(社)自転車協会
(社)全国自動車運転教育協会
全国小売酒販組合中央会
全国特殊学校長会
(社)日本音楽事業者協会
(社)日本保安用品協会
(財)交通事故総合分析センター
(財)日本自動車交通安全用品協会
日本自動車車体整備協同組合連合会
北海道旅客鉄道(株)
東日本旅客鉄道(株)
東海旅客鉄道(株)
西日本旅客鉄道(株)
四国旅客鉄道(株)
九州旅客鉄道(株)
日本貨物鉄道(株)
(社)全国行政相談委員連合協議会
日本安全帽工業会
(社)日本交通福祉協会
日本保安炎筒工業会
(財)日本自転車普及協会
(社)電気通信事業者協会
(財)道路交通情報通信システムセンター
(社)全国運転代行協会
(社)新交通管理システム協会
全国労働者共済生活協同組合再共済連合会

(財)三井住友海上福祉財団
(財)専修学校教育振興会
公立大学協会
全国公立短期大学協会
国立高等専門学校協会
日本私立高等専門学校協会
国立大学協会
日本私立大学団体連合会
日本私立短期大学協会
全国公立高等専門学校協会
日本私立小学校連合会

以上143団体